

ねりまの文化財

平成 22 年度 新規登録文化財の紹介

1月25日、練馬区文化財保護条例に基づいて、新たに「武内家資料」と「天祖神社東遺跡出土の石核」を登録文化財とし、区登録文化財「ちがや馬飾り」の保持者2人を追加認定しました。

指定・登録文化財は、学識経験者で構成される区の文化財保護審議会の答申に基づき、所有者の同意を得た上で教育委員会において決定しています。

これにより区の登録文化財は、有形文化財99件、無形文化財2件、有形民俗文化財38件、無形民俗文化財24件、史跡13件、名勝1件、天然記念物10件の合計187件となりました。このうち、とくに重要であると認められる指定文化財は42件です。

文化財は、長い歴史を通じて先人たちが築き、守り伝えてきたかけがえのない遺産です。区では、これからも地域文化の創造に不可欠な文化財の保護と活用を努めてまいります。

なお、新規に登録された文化財を、

石神井公園ふるさと文化館で展示しています。ぜひお立ち寄りください。

◇展示期間 4月6日(水)

～6月12日(日)

※期間中の休館日は月曜日

石神井公園ふるさと文化館

石神井町5-12-16

電話03-3996-4060

また、区の指定・登録文化財の詳細については、練馬区のホームページをご覧ください。

文化財をご覧になるときは、所有者や近隣の方々の迷惑とならないよう配慮ください。非公開の文化財もありますので、ご注意ください。詳しくは、文化財係までお問い合わせください。

練馬区
教育委員会事務局
生涯学習課
(文化財係)
〒176-8501
練馬区豊玉北6-12-1
Tel. 03(5984)2442

天祖神社東遺跡

出土の石核(1点)

有形文化財

〈所有者〉練馬区

〈所在地〉石神井公園ふるさと文化館

昭和58年12月、昭和60年1月、富士見池遺跡群の天祖神社東遺跡(関町北三丁目)の発掘調査を実施した際に住居跡から出土した、縄文時代中期後葉の黒曜石の石核です。長さ92mm、幅62mm、厚さ42mm、重さ470gで、不純物の少ない良質な黒曜石です。

黒曜石は、旧石器時代、縄文時代を通じて小形の石器を製作する際には、欠くことのできない石材でした。黒曜石の石核は、一般的に弓矢に用いる石鏃(矢尻)などの製作に用いられました。しかし、本例には直接剥離した面は観察されず、また元の石の表面が残されていることから、原石に近い状態で持ち込まれたと考えられます。

関東地方近辺の黒曜石の産地には、長野県の霧ヶ峰(星ヶ塔・和田峠・小深

沢・鷹山・男女倉)や北八ヶ岳(麦草峠・冷山)、神奈川県箱根(畑宿)、静岡県伊豆(上多賀・柏峠)、東京都の神津島、栃木県の高原山などがあります。

本例は、黒曜石に含まれる元素の割合から産地を推定する蛍光X線分析により、長野県星ヶ塔産(諏訪郡下諏訪町)という結果が得られました。

縄文時代中期中葉頃まで、関東地方南部で用いられてきた黒曜石は、東京都神津産(神津島村)のものが多かったのですが、後葉になって長野県産のものに変わります。この過渡期に、本例のように400gを超える大きな黒曜石の石核が、消費地で出土することはとても珍しく、縄文時代中期における石材の遠隔地流通を考える上でも貴重な資料です。



裏面

表面

練馬区指定文化財一覧

| 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 元 | 年度 | 名称 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--------|-----------|----------|-------------|-------|------------|--------|--------|--------|---------------|-----------|-----------|-------|-------|-------|---------|----------|-------|---------|-----------|---------|-----------|---------|-------|------------|--------|------------|--------|--------|--------|---------|--------|--------|--------|------|
| 34 | 33 | 32 | 31 | 30 | 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | No. | 登録年度 |
| 関のかんかん地藏 | 相原家薬医門 | 本寿院のみくじ道具 | 小美濃英男家文書 | 丸山東遺跡出土の木製品 | 千川家文書 | 閻魔・十王像と檀拵幢 | 妙福寺の梵鐘 | 三宝寺の梵鐘 | 長命寺の梵鐘 | 石幢七面六観音勢至道しるべ | 練馬東小学校のフジ | 長享二年の申待板碑 | 井口家文書 | 井口家文書 | 井口家文書 | 北町聖観音座像 | 御府内并村方日記 | 鶴の舞 | 氷川神社富士塚 | 豊島氏奉納の石燈籠 | 下練馬の富士塚 | 下練馬の大山道道標 | 尾崎遺跡出土品 | 妙福寺文書 | 春日町出土の壺形土器 | 長命寺仁王門 | 服部半蔵奉納の仁王像 | 大八車 | 中里の富士塚 | 町田家文書 | 北条氏康印判状 | 南蔵院鐘樓門 | 小島家文書 | 昭和62年度 | |
| 昭和63年度 | 平成2年度 | 平成7年度 | 平成7年度 | 平成8年度 | 平成9年度 | 昭和63年度 | 昭和62年度 | 昭和61年度 | 昭和61年度 | 昭和62年度 | 平成6年度 | 昭和61年度 | 平成6年度 | 平成6年度 | 平成5年度 | 昭和62年度 | 平成3年度 | 平成2年度 | 昭和62年度 | 平成3年度 | 平成3年度 | 平成3年度 | 平成3年度 | 平成3年度 | 平成3年度 | 昭和62年度 | 昭和62年度 | 昭和63年度 | 昭和61年度 | 昭和61年度 | 昭和63年度 | 昭和63年度 | 昭和62年度 | 昭和62年度 | |

| 21 | 20 | 19 | 17 | 15 | 14 | 13 |
|--------|--------------------|--------|---------|-----------|--------|-------------|
| 42 | 41 | 40 | 39 | 38 | 37 | 36 |
| 愛染院文書 | 中宮遺跡5号住居址の盛土状遺構出土品 | 旧内田家住宅 | 内田家の屋敷林 | 神輿渡御行列図絵馬 | 井頭のヤナギ | 伊賀衆奉納の水盤・鳥居 |
| 平成19年度 | 平成8年度 | 平成19年度 | 平成3年度 | 平成12年度 | 平成元年度 | 昭和63年度 |

練馬区登録文化財一覧

(有形文化財)

| 平成元年度 | 昭和63年度 | 昭和62年度 | 昭和61年度 | No. | 名称 | 所在地 | 所有者等 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------|----------|----------|-------------|----------|----------|------------|-----------|----------|----------|----------|---------|---------|----------|-----------|------------|---------------|-----------|------------|-------------|-----------|----------|--------|-----|
| 23 | 22 | 21 | 20 | 19 | 18 | 17 | 16 | 15 | 14 | 13 | 12 | 11 | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | No. |
| 妙福寺文書 | 加藤家文書 | 長命寺仁王門 | 伊賀衆奉納の水盤・鳥居 | 町田家文書 | 氷川神社の狛犬 | 閻魔・十王像と檀拵幢 | 角柱型水盤 | 氷川神社の水盤 | 榎本家長屋門 | 氷川神社の旧拝殿 | 南蔵院鐘樓門 | 小島家文書 | 妙福寺の梵鐘 | 牛若丸・弁慶図絵馬 | 双蝶々曲輪日記図絵馬 | 石幢七面六観音勢至道しるべ | 豊島氏奉納の石燈籠 | 服部半蔵奉納の仁王像 | *1長享二年の申待板碑 | 北条氏康印判状 | 三宝寺の梵鐘 | 長命寺の梵鐘 | No. |
| 南大泉5丁目6 | 土支田4丁目10 | 高野台3丁目15 | 大泉町5丁目15 | 東大泉7丁目47 | 氷川台4丁目47 | 氷川台4丁目18 | 石神井台1丁目15 | 南野台4丁目15 | 豊玉南2丁目15 | 中野台1丁目15 | 練馬区 | 南大泉5丁目6 | 高野台3丁目10 | 高野台3丁目10 | 中野台3丁目11 | 石神井台1丁目18 | 高野台3丁目19 | (欠番) | 石神井台1丁目16 | 石神井台1丁目15 | 高野台3丁目10 | No. | |
| 妙福寺 | 個人 | 長命寺 | 氷川神社 | 個人 | 氷川神社 | 氷川神社 | 氷川神社 | 個人 | 氷川神社 | 南蔵院 | (所有者)個人 | 妙福寺 | 長命寺 | 長命寺 | (管理者)南蔵院 | 良弁塚 | 氷川神社 | 御嶽神社 | 道場寺 | 三宝寺 | 長命寺 | No. | |

武内家資料(119点)
有形文化財

〈所有者〉練馬区

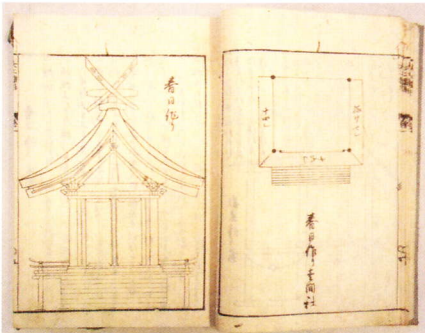
〈所在地〉石神井公園ふるさと文化館
下練馬村早淵(現早宮)に江戸時代から在住する武内家に伝わった、江戸時代中期から昭和初期までの文書類や書籍類です。武内家は、農業を営むとともに大工でもありました。

文書類には、元禄16年(一七〇三)4月の名寄帳写(土地台帳の抄録)をはじめ年貢徴収に関する請取状や帳簿が数多くあります。また伝馬役や縁組などに関するものも含んでいます。

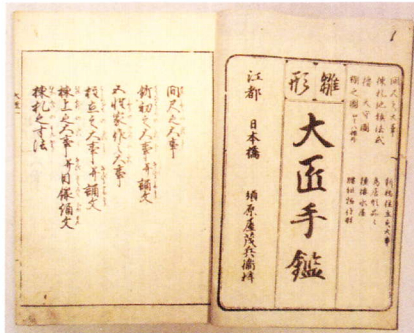
書籍類には、享保6年(一七二二)刊の『雛形大匠手鑑』や宝暦9年(一七五九)刊の『新撰大工雛形』など、江戸時代以降に出版された建築関係のものがまとまっています。また、江戸時代の和算書である『算法発蒙集』や、手紙の書き方を解説した『消息往来講釈』など、実用・教養に関する書籍も含まれています。
江戸時代から近代にかけて、半農半工であった下練馬村の家の様相を知ることができる資料です。



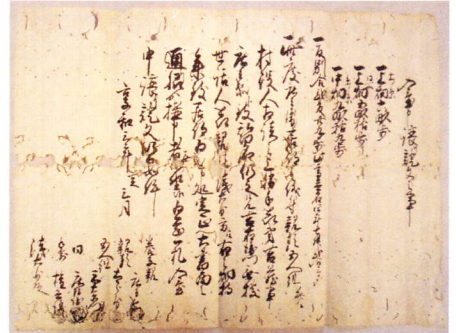
「御伝馬高割帳」
(明治3年正月付)



『新撰大工雛形』(宝暦9年刊)



『雛形大匠手鑑』(享保6年刊)



譲り証文(享和3年(1803)3月付、表題に「入置申譲り証文之事」と記す)

ちがや馬飾り

無形民俗文化財

(平成3年度登録)

保持者 丹羽 幸男

伊藤 弥五郎

ちがや馬飾りは、ちがやで作る七夕馬のことです。毎年七夕になると、左の写真のように、2本の竹飾りの間に荒縄を渡し、雌雄一対のちがや馬を向かい合わせに吊るしました。区内各地の農家で広く行われてきた民俗です。
平成3年度に区の無形民俗文化財として登録されました。



ちがや馬飾り(昨年の七夕、石神井町5-13区立池淵史跡公園内「旧内田家住宅」庭先にて)

この「ちがや馬飾り」の保持者として、丹羽幸男氏(北町3丁目在住)と伊藤弥五郎氏(錦1丁目在住)を追加認定しました。



丹羽・伊藤両氏製作のちがや馬(浅間神社にて)



左:伊藤氏、右:丹羽氏(弁天堂にて)

二人はそれぞれ少年時代にちがや馬飾りを行った経験があり、10年ほど前から再開して製作を続けています。
現在は、中学校の授業などでちがや馬の製作指導を行っているほか、七夕に際しては浅間神社(北町2-41)や弁天堂(北町1-39)などで飾りつけを行っています。
今回の追加認定により、現在区無形民俗文化財「ちがや馬飾り」の保持者は4名となりました。